

宮崎県立看護大学 看護研究・研修センター地域貢献等研究推進事業

令和3年度感染管理スキルアップ研修会がスタート

研修会は5月から10月まで行われます。医療施設で感染管理を担う看護職32名が受講しています。



統括責任者
宮崎県立看護大学
栗原保子 先生

事業組織メンバー
邊木園 幸
勝野 絵梨奈
武田 千穂

本研修会は、宮崎県内の安全な医療の実現のために感染管理に関するより専門的な知識及び技術を修得しチームリーダーとして多職種と連携し、所属施設の医療関連感染の予防と管理に貢献できる人材を育成することを目的として実施しています。本年度は、7回目（7年目）の開催となります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況から、開催方法を変更（動画配信型,同時双方向型）しました。受講者（所属施設管理者）のご協力をいただき、無事スタートすることができました。

Web開催

動画配信型研修 5月24日～6月6日限定配信

同時双方向型研修 6月7日



プログラムについて

新型コロナウイルス感染症など最新の感染症の動向や知見について、根拠を踏まえて学修しています。県内で活躍する感染管理認定看護師、学内講師が講義を行います。「医療機関で感染を起こしやすい微生物」「標準予防策・感染経路予防策」「COVID-19対策」など…で構成され、所属施設での実践や指導、多職種と連携した組織的な活動に活かせる内容となっています。



高齢者/精神科領域における感染対策
大悟病院 感染管理認定看護師
早田康治 先生

感染対策チームの組織化と地域連携
平和台病院 感染管理認定看護師
柳原由美子 先生

アンケートより

今年から感染対策チーム（ICT）メンバーとなりラウンドや会議に参加していましたが、今回の研修に参加することでICTのあるべき姿や多職種との連携の重要性を実感しています。これからメンバーと一緒に病院のためにできることを行っていきます。

動画配信型研修では、一時停止しながら、わからない用語を調べることができ、自分の知識に合わせて学びを深めることができた。同時双方向型研修の際には、他の施設の方々の意見を聞くことができ、同じ悩みをもっていることを実感しました。この研修で知識を身につけて、病院や地域のために貢献したいという気持ちがより一層高まりました。

こんなにも頼れる存在、共有できる方々がいるのだと少し気持ちが楽になりました。

次回開催は6月21日（月）これまでの学びを活かし、所属施設の課題の抽出と改善計画立案を行います。

第2報で報告！！

Web開催